

【ソリスト変更のお知らせ】

2019年6月16日(日)15時開演のボローニャ歌劇場「セヴィリアの理髪師」でフィガロ役として出演予定だったジュゼッペ・アルトマーレは、所属事務所の事情により来日が不可能となりました。恐れ入りますがご了承のほど、宜しくお願い致します。

代わりにアルベルト・ガザーレがフィガロ役として出演致します。



アルベルト・ガザーレ (ALBERTO GAZALE)

現代最も高い評価を受けている多才なバルトンの一人。世界中の主要な劇場でベルカントからヴェリズモまで70以上もの主役を歌ってきた。

ヴェローナ国立音楽院卒業後、数々の国際コンクールで優勝をし、1998年アリーナ・ディ・ヴェローナにて《仮面舞踏会》でオペラデビューして以来、世界中の代表的なオペラハウスでのキャリアを積んできた。スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ローマ歌劇場、フェニーチェ歌劇場等に頻繁に出演しており、有名オペラハウスで好評を得続けている。

ガリー・ベルティーニ、ロベルト・リッツィ・ブリニョーリ、リッカルド・シャイー、ジェームズ・コンロンなど、多くの指揮者とも共演。

現在円熟期を迎え、ドラマティック・バルトンの頂点に上り詰めようとしている。